

豊川流域圏図



- 豊川流域圏
- 豊川流域
- 天竜川流域
- 粟原川流域
- 利水地域市町
- 豊川用水幹線水路

豊川水系河川整備計画は、国土交通省豊橋河川事務所、豊川KAWAKKO資料館、設楽ダム工事事務所で閲覧できます。また、豊橋河川事務所ホームページでもご覧いただけます。

「豊川水系河川整備計画」についてのお問い合わせ先

国土交通省中部地方整備局 豊橋河川事務所
 〒441-8149 豊橋市中野町字平西1番6
 TEL 0532(48)2111(代) FAX 0532(48)8100
<http://www.cbr.mlit.go.jp/toyohashi/>

国土交通省中部地方整備局 設楽ダム工事事務所
 〒441-1341 新城市杉山字大東57
 TEL 0536(23)4387 FAX 0536(23)4408
<http://www.cbr.mlit.go.jp/shitara/>

とよがわの川づくり



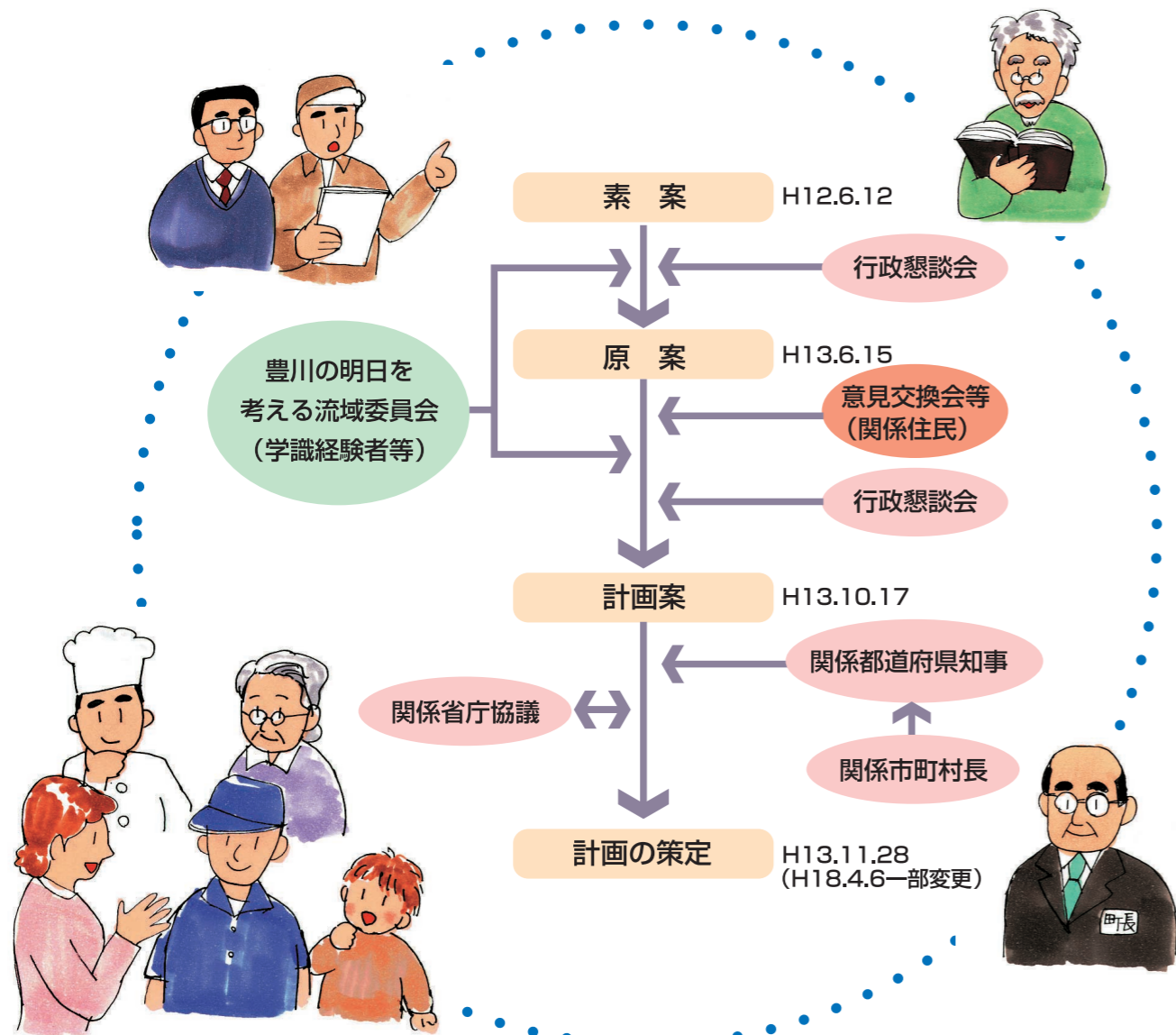
金沢橋(20.1km)より上流を望む

豊川は東三河の人々の暮らし、産業、そして自然にいつの時代もたくさんの恵みを与えてくれました。今後、豊川の役割はますます重要になるでしょう。この豊川の豊かな恵みを時代を超えて未来に引き継ぐために、豊川水系河川整備計画を策定しました。このパンフレットは、その概要と現在進めている川づくりについて、わかりやすくまとめたものです。

はじめに

国土交通省中部地方整備局では、21世紀の豊川を安全で自然豊かな川にしたいために、今後概ね30年間に実施する河川整備の計画を、平成13年11月28日に策定(平成18年4月6日一部変更)しました。

「豊川水系河川整備計画」は、次のような手順で策定しました。



計画の策定にあたっては、平成10年12月に「豊川の明日を考える流域委員会」を設置して、平成13年10月までに23回にわたって学識者等の意見を聞くとともに、関係市町12会場で地区別意見交換会を開催するなどして、地域の皆さんから整備計画原案に対しての意見をお聞きし、計画に反映させました。

※平成9年の河川法の改正により、河川整備計画の策定にあたっては、地域の皆さんの意見を反映する手続きが加えられました。

※河川整備計画策定後も引き続き「豊川の明日を考える流域委員会」を設置し、河川整備計画のモニタリング等について意見をお聞きし、適切な河川整備の実施に努めてまいります。

※平成18年4月6日の一部変更は、平成18年2月17日に閣議決定した「豊川水系における水資源開発基本計画の全部変更について」に伴う設楽ダムの開発水量の変更の他、市町村合併による名称変更を行いました。

豊川周辺のあらまし

豊川は愛知県東三河地方を流れる一級河川です。人々の暮らし、産業、そして自然にいつの時代も、たくさんの恵みをもたらしてくれました。そして、その恵みが東三河地方の歴史、文化、風土を育んできました。これも洪水との闘いや水資源の開発など、先人たちの数多くの努力があったからです。

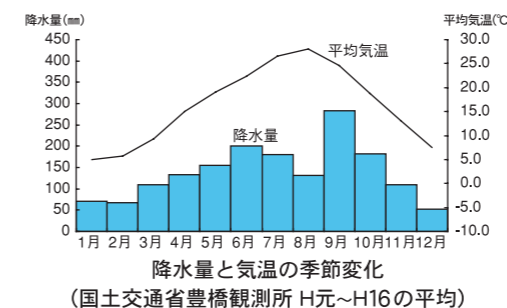
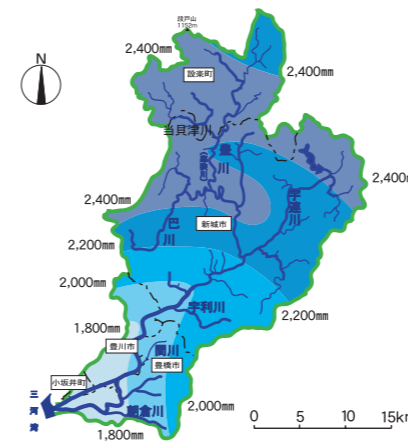
利水関係地域を含めた豊川流域圏は、6市4町に及びます。流域圏内には、東海道新幹線、東名高速道路、三河港等の重要交通網が整備されるとともに、第二東名高速道路や三遠南信自動車道の事業が進められるなど、今後も発展が期待されています。

豊川のデータ

源流	段戸山(標高1,152m)
幹川流路延長	77km
流域面積	724km ²
年降水量	約1,800~約2,400mm

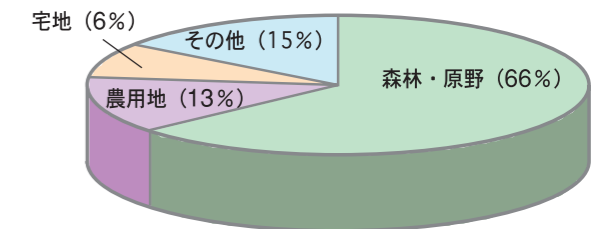
降水量

流域内の年間降水量は上流域で約2,400mm、下流域で約1,800mmであり、豊かな水の供給源となっています。一方、雨は梅雨期と台風期に集中しており、数多くの水害をもたらしています。



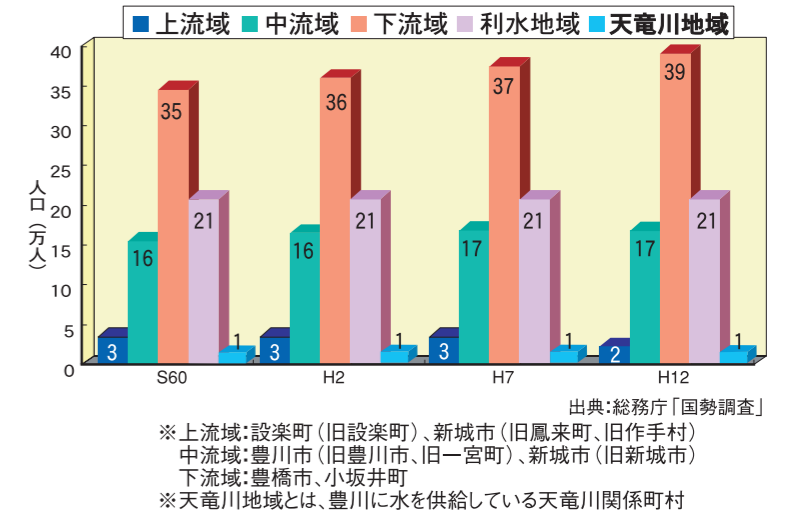
流域市町村の土地利用状況

森林・原野(約66%)と農用地(約13%)で全体の約8割を占めますが、下流の臨海部や周辺台地を中心に工業団地や住宅地が増えています。



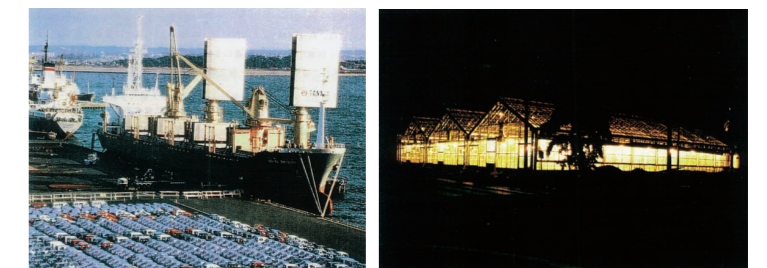
人口の推移

豊川流域3市2町の人口は約58万人で、下流部の豊橋市、小坂井町に約39万人と、全体の約67%の人口が集中しています。また、周辺利水地域の人口は、約21万人です。



産業

東三河地域の主要な産業は、農業、輸送機器産業、食料品産業などです。特に田原市と豊橋市の農業産出額は全国市町村で第1位、第5位を占めています。



自動車輸出入価額国内第1位の三河港 電照菊の栽培

出典:農林水産省生産農業所得統計(H16年度) 豊橋税関支署平成17年分三河港貿易概況